

# Kenren No.77 kanon

神奈川県  
合唱連盟  
機関情報誌

2012 年春号

発行：2012.4.10

## ◆ かながわヴォーカルアンサンブルコンテスト開催 ◆

ヴォーカルアンサンブルコンテスト実行委員会

実行委員長：岩渕 正観

### 第 14 回 かながわヴォーカルアンサンブルコンテスト

平成 24 年 3 月 11 日(日)、第 14 回 かながわヴォーカルアンサンブルコンテスト(以下、アンコン)が神奈川県立音楽堂で開催されました。

当初、43 団体が出演予定でしたが、直前に 1 団体の出演辞退があり、42 団体・出演者 605 名(一昨年比：3 団体・45 名増)に出演いただきました。

本イベントは、県連加盟団体はもちろんですが、非加盟団体(県内/県外)の参加も受け容れており、今回も各地から多くの団体に参加されました。

[参考] 42 団体の内訳：加盟：25、非加盟：17(県内：6、県外：11)

本番では、各合唱団の特徴を活かした透明感のあるアカペラの響きが会場全体を満たしました。

ちょうど 1 年前の 3 月 11 日は、第 13 回アンコンの 2 日前で、実行委員は県連事務所で準備に追われていました。そこにあの震災が発生し、資料は散乱するは備品は壊れるはで、その後の交通機関の混乱もあり、第 13 回アンコンは已む無く中止とせざるを得ませんでした。出場を予定されていた各合唱団の皆様にはご迷惑をお掛けいたしました。

当時は、「こうしたイベントを続けていけるのだろうか」「歌(合唱)などうたっていて良いのだろうか」という思いもよぎりましたが、やはり前向きに取り組まねばならないと思い直し、今回に向けて準備を進めてまいりました。

昨年 12 月 1 日に申し込み受付を開始しましたが、参加団体は集まるのだろうかという心配がありました。しかし、ふたを開けてみたら、何と 4 日間で予定の 43 団体に達してしまい、皆様の合唱に寄せる熱意をひしひしと感じました。その後に申し込まれた団体にはお断りをする事になり、申し訳ない気持ちでいっぱいでした。

2 年ぶりの開催になったアンコンが盛会裡に終えることができたのも、こうした各団体の熱意によるものと、深く感謝申し上げます。

審査員長の江上孝則先生の全体講評では「日本語やラテン語の発音」について丁寧なご説明をいただきました。

来年の第 15 回アンコンは、平成 25 年 3 月 10 日(日)に神奈川県立音楽堂で開催する予定です。また皆様と一緒に素晴らしい演奏を聴きあうことを楽しみにしております。

## ■部門別審査結果（表記は出演順）

【コンテスト部門】（金賞団体、および金賞がない部は最上位団体が総合審査に進出）

〔シニア合唱の部〕（出場 1 団体）

入賞なし（規定により、並木コールが総合審査に進出）

〔混声合唱の部〕（出場 10 団体）

銀 賞 合唱団歌の葉、TAMA STAR SINGERS  
（同点のため、上記 2 団体が総合審査に進出）

〔女声合唱の部〕（出場 15 団体）

金 賞 アンサンブル藤沢、女声合唱団ぴゅあはーと、La Pura Fuente、rêveur

銀 賞 Ensemble B.T.B.

銅 賞 アンサンブル・ピノ、アンサンブル Mora

〔ジュニア合唱の部〕（出場 11 団体）

金 賞 佐倉ジュニア合唱団、清泉女学院中学音楽部、小田原少年少女合唱隊

銀 賞 金沢少年少女合唱団

〔男声合唱の部〕（出場 4 団体）

銀 賞 マルベリー・メールクワイア

### ★総合審査結果

総合 1 位 小田原少年少女合唱隊

総合 2 位 清泉女学院中学音楽部

総合 3 位 rêveur

### ★審査員特別賞（該当なし）

【フェスティバル部門】（出場 1 団体）

オーディエンス賞 富士通川崎合唱団男声部隊

〈審査員〉 伊集院 俊光

江上 孝則

片野 秀俊



ヴォーカルアンサンブルコンテストで  
熱演を繰り広げる演奏団体



閉会の挨拶をする岩淵実行委員長



実行委員の皆さん

## 第35回神奈川県合唱フェスティバル

## 小学校合唱フェスティバル ～響け☆希望の歌声～

フェスティバル実行委員会  
実行委員 青山道代

フェスティバル実行委員の皆さん

2012年2月11日(土)、神奈川県立音楽堂で神奈川県合唱フェスティバルが開催されました。毎回様々なテーマを掲げて行われるフェスティバルですが、今回は初めての企画として、県内の小学校が集い“響け☆希望の歌声”のテーマのもと、明るくさわやかな歌声が披露されました。横浜、川崎、相模原の9つの小学校と、特別出演の小田原少年少女合唱隊、合わせて390名が参加。講師には桑原妙子先生と平井保先生をお迎えしました。

オープニングは平井先生の指揮による合同合唱“Believe”。子どもたちの伸びやかで清々しい歌声、全身からあふれてくるストレートなメッセージに第一声から心を奪われました。

県連に加盟していない小学校の演奏に触れる機会は少ないと思いますが、どの学校も個性豊かで、魅力的な演奏が続きます。指揮者の意図を汲み取ろうとする真剣なまなざしもあるれば、おおらかで力強い歌声や、楽しさが弾んでいるような演奏もあり、明るく素直な響きに心が洗われるようでした。毎日朝練をしている合唱部、地域の行事に意欲的に参加している特別合唱クラブ、県連が講師を派遣し活動のお手伝いをする「地域と結ぶ合唱プロジェクト」を受講したクラス合唱など、熱心な活動を続けている学校ばかりで、磨かれたものを感じました。

交流タイムでは、坪谷実行委員長考案の「よろしくじゃんけんゲーム」(自分の名前と学校名を書いたカードを持って、自己紹介の挨拶をしてじゃんけんをし、勝ったら相手のカードをもらえる)でにぎやかに盛り上がりました。生き生きとした表情にこちらの顔もなごみます。客席のマナーも大変よく、写真撮影や録画の心配も無用で、各校の演奏に熱心に聞き入っている様子が印象的でした。特別出演の小田原少年少女合唱隊の素晴らしい演奏には、とりわけ大きな拍手が起きていました。

最後の合同合唱は、桑原先生の指導による「雪の窓辺で」。子どもたちの元気な歌声や一生懸命な姿は、会場を大きな感動で包み、未来への希望にあふれる温かいコンサートになりました。

インフルエンザや、私立中学の制服の採寸などが重なり、当初478名の予定だった参加者が大幅に少なくなってしまったのが残念でしたが、出演された学校の先生から「Nコンなどではなかなか交流ができないので、こういう催しに参加できてとてもよかったと、子どもたちも喜んでいます。」というお手紙が届き、大変うれしく思いました。直前に講師の平井先生が腰を痛められ、実行委員がインフルエンザにかかったり、当日朝に地震があったりと気を揉む場面もありましたが、あの“Believe”の歌声で諸々の心配事が吹き飛びました。歌の持つ力を信じて、子どもたちがこれからも合唱を大事に続けていってほしいと思います。



挨拶する坪谷実行委員長



全体合唱の様子



## かながわユース・コーラルフェスト2011 開催報告

ユース・コーラルフェスト実行委員会  
実行委員長：金子佳弘

当連盟の中高生のための育成事業の1つであるユース・コーラルフェストは毎年、開催方法を試行錯誤しながら実施し、その度に内容の検証を行い、教育合唱の在り方を参加者と共に考え、創り上げてきました。

昨年、今年と当連盟副理事長の平井保先生を講師に迎え、演奏と講評(クリニック)という形式で行ってきましたが、今の中高生の合唱が厳しいと言われる状況においては適した方法の1つであると考えられます。

神奈川県公立中学校では次年度から3年生の選択音楽授業が全廃となり、NHKコンクールのために存在したいわゆる「特設合唱団」は減少するだろうと思います。このことは中学から高校への橋渡しを考えた場合、不利とならざるを得ないでしょうし、それゆえ、中学の部活動を充実させるため、各方面から様々なサポート体制を敷く必要があるのではと思います。

的確な合唱指導には一体何が必要なのでしょう。つくづく、教育の重要性を感じた1日であります。

また、今回、久々にゲスト団体による演奏コーナーを設け、平井先生が指導される金沢少年少女合唱団を迎えました。さらに、プログラムに同合唱団のホームページにアップされている平井先生の挨拶文を掲載することにしました。今後、特に若い指導者の方々に贈るメッセージとして、とても大切な姿勢が述べられていると思うからです。今回の開催報告にも平井先生の挨拶文を引用させていただくことになりました。

会員、役員の皆様、是非、若い合唱に注目していただき、育成に強い関心を示して下さい、何らかの繋がりが出来たら幸いです。

～以下、挨拶文から引用～

「音楽の好きな子供を育てたい」

### ・明るい笑い声の満ちる中で

合唱練習という言葉から恐らく「笑い声」は想像できないでしょう。指揮者の大きな声が飛びかう場面を思い起こす方は一度、当合唱団の練習場に来て、子供達の表情をご覧になって下さい。きっとびっくりされると思います。音楽は本来楽しいものはずです。特に合唱は心と心の結びつきによって完成されるものですから、楽しくなくてはなりません。いつも笑い声の絶えない練習風景、これが当合唱団の一番の特徴と言えるでしょう。

### ・怒らず怒鳴らず叱らず

指揮者が一番注意しなければならないこと、それは子供達の成長を助けること、きっかけをつくってあげることでしょう。合唱団に集まった子供たち一人一人が将来音楽家になるにしろならないにしろ、この合唱団に入ったことが人生の「きっかけ」になることが重要なのです。ですからその為には合唱を好きになってもらうことが大切です。嫌いになる多くの原因は指導者の不注意な言動によるところが大きいものですね。ですから「怒らず怒鳴らず叱らず」という方針で臨んでいます。

### ・基本を大切に

しかし、感性豊かな時期にいい加減な指導をしては、それこそ将来に悪い影響を与えてしまいます。子供達の能力は無限で、しかもこの時期に受けた知識や心の成長は一生のものになります。合唱として大切な発声、流れるような旋律や心おどるリズム、美しいハーモニーなどを体験すること。また、実際に自分が成長したという達成感を味わえること。その為には基本に忠実に、というのが指導の柱となっています。音楽の好きな子供を育てたい。この信念でこれからも合唱団と共に歩んで参りたいと思っています。



松村、平井両副理事長の挨拶



熱演を繰り広げる出演団体



講師として指導する平井副理事長

- ・開催日 2011年12月26日(月)[於:かなつくホール]
- ・講師 平井保
- ・参加 12校198名

## 「全日本おかあさんコーラス大会」ノススメ

全日本おかあさんコーラス大会をご存知でしょうか。この大会は、おかあさんたちの熱い熱い思いのこもった大会なのです。

神奈川県では毎年、4月の第3土曜日に全日本おかあさんコーラス神奈川県大会が開催されます。今年は、28団体が出場、コンクール形式ですので、優秀賞が6団体選考されて関東大会出場権が与えられます。そして、優良賞が4団体以上選考され、選ばれた中で抽選によって、3団体関東大会出場権が与えられます。7月に静岡で関東大会が開催。関東支部9県（関東6県+新潟、山梨、静岡）から推薦された約100団体が出場。そこで、優秀賞20団体（出場団体の2割と決まっております）が選考されて、その20団体から抽選で10団体を選出され、全国大会出場権が与えられ、晴れて全国大会に出場できることになります。



第25回全国大会出場時の様子

第33回全日本おかあさんコーラス大会の場合、全国から、1209団体が参加し、その中から、58団体が全国大会に出演。ほんとうに、狭き門なのです。これは、女声合唱団にとって、高校野球の甲子園大会のようなもの。全国大会に出場が決まった時の喜びは、たとえようがありません。



神奈川県大会に出場

全国大会の華やかなこと、さながら紅白歌合戦のようなオープニングセレモニー、各出演団体の代表5人が、プラカードを持って、アナウンスとともにステージに入場。出演団体勢揃いでステージに並ぶさまは圧巻。会場は大盛り上がりです。もちろん、各ステージも熱演が続きます。アカペラの正統派あり、100人を超える団員が一糸乱れぬパフォーマンスを行う団あり、宝塚顔負けの振り付けがある団あり、指揮者の先生が踊っちゃう団もあり、見ごたえ、聞きごたえたっぷりの1日です。

歌う側にとっても、超満員のお客様の前で歌う喜び。全国大会は、チケットがソールドアウトするほどの人気で、いつも超満員なのです。このステージは、後日全国ネットでのTV放送もあります。また、全国大会

出演者は前日行われる前夜祭『ザ・パーティー』があります。会費制ですが、高名な作曲家、作詞者、指揮者の先生方たくさんいらして、お話を伺ったり、写真を



ザ・パーティーで故関屋先生と一緒に撮っていただいたり。テンションは上がりっぱなしです。

おかあさん大会にエントリーして、次の大会に進んでいくのを経験すると、もうやめられない。毎年のこの大会を目標としている団がたくさんあるのです。私も、2回全国大会に出場しましたが（先生、ありがとうございます）、その興奮は忘れられないです。県大会で終わってしまったとき（つまり1回戦敗退）も、それはそれで楽しいもの。協賛のキューピー株式会社からの出演者へのお土産をいただいて、帰ります。

そんな大会が今年は、4月21日（土）神奈川県立音楽堂で11時から開催されます。ぜひご覧になりますか（入場券500円：300円のプログラム付）。また全国大会が東京（35回記念大会）で開催されます。2012年8月24日（金）・25日（土）・26日（日）3日間です。ともに10:30開演予定。会場は文京シビックホールです。私も会場に行くつもりです。全国のおかあさん仲間にエールを送るため。がんばれ～！！

そして、見るだけでなく、歌いたくなったアナタ。来年のエントリーお待ちしています。おかあさんコーラス仲間になりましょう。ほら、「おなじあほなら・・・歌わにゃソンソン」ですよ～！

新しい世界が広がること間違いなし！！お待ちしています。

（カノン編集委員：渋谷 直美）



ひまわり賞をいただいた表彰式



# 杉山 範雄の私的趣味の部屋

## ♪ 第一回 ♪

### ～合唱練習を支える磁気録音機のルーツ～

カノン編集部には原稿依頼を受け、考えなしでOKを出してしまった相変わらず身の程知らずなわたくし…音楽的知識が薄い自分に、いったい何が伝えられるだろうと考えたとき…ふと、普段から妻に『邪魔で、うるさい』と文句を言われ続けている『音響機器』が浮かんだ。だから何？意味が分からない?!と思われる方が殆どかと思いますが、昔から合唱や歌を勉強する際、テープレコーダーといった『録音機』は、無くてはならない必需品であったと思います。先生方からの注意点、それに対しての自分たちの演奏、いくら楽譜にメモしたからといっても、細かいことはあつという間に忘れてしまう。そんな時、録音されたテープは、その場の空気や、細かいニュアンスまで記録してくれていて、何よりの復習・勉強材料でした。

さて、その録音機、今ではICレコーダー、PCMレコーダー等、軽量で消費電力も小さく、内蔵された記録媒体に高音質で長時間残せる物が安価で購入できる時代になりましたが、そもそも録音機というものが世界で初めて誕生したのはいつなのでしょう？

実は1857年、フランス人エドゥアール＝レオン・スコット・ド・マルタンヴィルという人が発明した『フォノグラフ』が、音を記憶する装置の最古のもので、実際に音の波形を記録しました。ただ、



エジソンの蓄音機

当時の技術でそれを音として再生する手段が無かったので、その後1877年、あのトーマス・エジソンが改良・発明した『蝋管式蓄音機』で、メリーさんの羊を録音したものが世界初の録音となりました。その録音は現代には残っておらず、音声として残っている最古のものは、1878年フラン・クラン・パート作の『トーキング・クロック』という機械に収められたその当時の『時報』なんだそうです。

その後、テープレコーダーの仕組みである、メディアを帯磁させることで音声信号を記録する『磁気録音方式』は、1888年にアメリカ人オバリン・スミスが最初に着想しました。それを最初にシステムとして実用化されたのが、デンマークの発明家ヴォルデマール・ポールセンが1898年に完成させた、メディアにピアノ線を利用した磁気録音式ワイヤーレコーダー「テレグラフォン」でした。その後、ドイツ人フリッツ・フロイヤーが耐久性に優れ、より扱いやすいプラスチックテープを採用したが音質が悪く、その後、化学メーカーBASF社の協力によるテープ材質の改良（アセテート樹脂）と、1938年の永井健三、五十嵐梯二による

交流バイアス方式の発明で、1939年～1941年までに音質が飛躍的に改善され、実用に耐える長時間高音質録音が可能となりました。



オープンリールの録音機

この結果、テープレコーダーは第二次世界大戦中のドイツにおいて、政治宣伝・対敵宣撫放送用のメディアとして大いに活用されました。アドルフ・ヒトラーの長大な演説やクラシック音楽を、レコード針等の雑音・ディスク交換による中断などなしにいつでも連続録音・再生できることは、放送用メディアとしての非常な利便性でした。ラジオ放送用としてフルトヴェングラー指揮によるベルリン・フィルの演奏もテープ録音され、貴重な歴史的音源となっています。この過程ではステレオ録音もすでに試みられていたと言います。



8トラックテープ

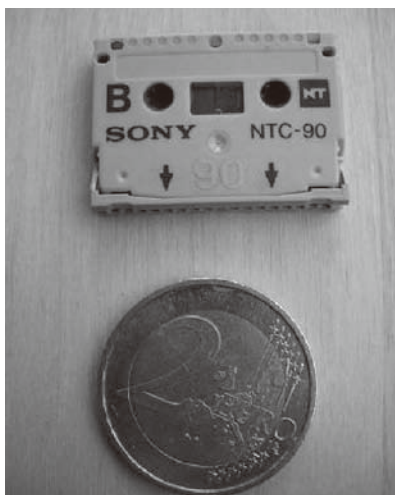
そのテープレコーダーも様々な進化を遂げていきますが、一般に出回った代表といえはオープンリール！音声だけでなく、映像、コンピュータの記録用としても長く活用されました。ただ、携帯性に乏しく、のちにカートリッジ化されて、コンパクトカセット（今のカセットテープの原型）が誕生しました。初期はテープ幅の小ささやテープ走行速度の遅さによる性能の制約から会議録音など業務用のメディアと考えられ、音楽用として認識されなかったため、より再生能力を重視させた『8トラック』が開発され、主にカーオーディオ、カラオケ、バスの車内放送に用いられました。1970年代後半以降、メディア・デッキとも8トラックより安価で長時間録音可能なコンパクトカセット（今のカセットテープ）が、音質や耐久性を向上させ、ステレオ録音も可能となって広く普及しました。そしてさらに時代はアナログからデジタルへと進化し、『デジタル・オーディオ・テープ（DAT）』を皮切りに、あまり知られていないフィリップスと松下電器が共同開発した『デジタルコンパクトカセット（DCC）』、ソニーが開発した高音質デジタルマイクロカセット（スクープマン）など、より高音質で携帯性の良い磁気録音方式の録音機が誕生しました。そんな黄金期を築いた磁気テープも、いよいよ弱点である『耐久性』が見直



ELカセットテープ

され、記録する媒体もポリカーボネートに移行し、ディスクに細かいくぼみが掘られ、そのパターンでデジタル信号を表現する『コンパクト・ディスク (CD)』、映像では『レーザー・ディスク (LD)』が登場、その録音用メディアとして『ミニ・ディスク (MD)』が登場することとなりました。

続きは次回、デジタルメディア編でお伝えします。



テープ進化の最終系（上から）  
DAT、NTカセット、マイクロカセット



#### ♪杉山範雄プロフィール♪

1975年生まれ、合唱を小田原少年少女合唱隊、声楽を東京芸術大学にて学ぶ♪現在、金沢混声合唱団、鎌倉市民混声合唱団、アンサンブル萌等の指揮者。

## ♪ほんわか♪ 県連事務局コラム

こんにちは！昨年6月から県連事務所で事務局スタッフの仕事をしている青山（湘南はまゆう所属）です。今月からしばらく、県連の活動を陰で支える事務所のあれこれをご紹介します。

場所は関内の横浜スタジアムの近く、横浜朝日会館の4階です。ワンフロアをパーティションで仕切っているスペースなので、ウナギの寝床の様に細長い部屋。各種行事に必要な備品が棚にびっしり積み、過去の資料や書類もずらりと並んでいます。昨年の震災では、棚から荷物が散乱して大変でした。その後補強工事がされました



県連事務所入り口

が、地震が来ると仕切りがみしみしと音を立て、ゆらりと足元の浮くような揺れで、船酔いしそう…。時には細長い部屋の中央の細長い机に実行委員会の理事の皆さんが集まり、膝をつけるようにして打ち合わせや準備作業が行われています。

常駐スタッフは、何でも知っているベテランの並木さんと私の一年先輩の有村さん。私は火曜日の担当です。この事務所で一番の働き者である、デスクトップのパソコンは『くまさん』、ノートパソコンは『うさちゃん』と名前を付けて可愛がっています。ただ、長年働いた『うさちゃん』は最近二代目になりました。Windows7は速くて賢い！私もフットワーク軽く仕事しよう～と思っています、はい。

（カノン担当：青山 道代）



事務所の内部の様子

# カトウ先生の『合唱基礎のキソ』

## ♪第1回♪ ～まずは姿勢の話から～

このたび「合唱基礎のキソ」というお題で何か書くようにと仰せつかりました。神奈川県連の誇る素晴らしい指導者の方々のお顔を思い浮かべると体が縮む思いですが、少しでもみなさんのお役にたつことが書けると良いなと思っています。よろしくお願いします。

さて、この記事の目的は、合唱を始めてまだ手探りの状態で練習に取り組んでいる方、そして「最近ちょっと歌えるようになってきたと思うのだけれど、もう少しステップアップしたいな」という思いを持っている方を対象に、いくつか考えるきっかけになるポイントをまとめてみよう、というもののなのですが、まず今回は身体を保つことについて考えてみたいと思います。

歌い手というのは演奏者であるとともに、自身が楽器でもあります。ですから音程や音色、曲想など演奏者として気を使うこと以外に、楽器である自分の身体をいかに良く保つかがということがとても大切になってきます。

練習では出来ていたのに本番で失敗してしまった苦い経験はあなたにでもあるかと思います。たとえば、音程が下がったり上ずって調整できなくなる、喉が閉まった硬い声になってしまう、などです。もちろん原因はいろいろあるのですが、身体を良い状態に保てなくなっているということはとても大きな要因です。

### 1) プレスの時に身体をリセットする

プレスの時に身体を一回リセットすることを習慣づけましょう。

曲の中ではなかなかできないかも知れませんが、まずは発声練習の時など、余裕を持ってプレスできる時に意識して脱力してみてください。そして鼻から何か良い香り、好きな香りをかぐようなつもりで、身体を前後左右、上下すべての方向に豊かに開くような意識で呼吸をして、しっかり体勢を立て直すようにします。体勢が整わないまま、吸った勢いだけで声を出すことはよくありません。ゆったりしたプレスでできるようになってきたら、曲中の短いプレスでもできるように、だんだんと体勢作りを素早くできるようにしていきましょう。

### 2) 下半身の安定を考える

肩や胸に余分な力が入っていないか、喉や顎を硬くしていないかということは考えながら歌っている方が多いでしょうが、意外とおろそかになっているのが下半身のことです。

私たちは立って演奏をしているのですから、安定して体重を支え保つということに、もっともっと神経を使わなければなりません。

高く、強く、遠くへ、前へという意識が先行すると、身体がこちらに引っ張られてしまいます。全身のバランスが崩れ、歌うための筋肉も上手く働かなくなってしまうのです。そうすると、最後には喉に頼るしかなくなり、結果として、本来出せるはずの柔らかな美しい響きをそいでしまうことになるのです。

大切なのは、下半身をどっしり保って立つことです。特に高音を出す時、強く長い音を出す時、上半身の力だけでもっていかないように、身体を下に開くように、体重を乗せて踏みこんでいくような感覚を持っているとよいのではないのでしょうか。膝の裏側が硬く突っ張ってしまっていないか、柔らかく膝を使えるような状態になっているかも確認してみると良いですね。

### 3) 立ち癖を治そう

立っている時の姿勢、癖などは自分ではなかなか気づく事ができません。客観的に見ていただくのが一番なので、パート練習や音取りをしている時に、同じパートの方や練習のまとめをしている方にチェックしてもらうようにしましょう。

また、普段から立ち癖や足にかかる体重の偏りを調整するために、次のようなことをしてみると良いかも知れません。

◆まず歌うつもりで姿勢良く立ってください。

顔は下に向け不要、正面を見ます。

◆その姿勢を保ったままで足の裏だけで体重移動をしてみましょう。

上体や腰やひざを動かして移動するのではなく、足の裏だけに意識を集中します。

◆じわっと右に体重を移動→中心に戻す

→じわっと左に移動→中心に戻す

これを前後、左右、何度か繰り返してみましょう。

◆できるようになったら、時計回り、反時計回りで体重を移動しながら、身体の左右バランスを整え、ベストの重心の位置を探って行きましょう。

上体がブレる、前後左右で同じ動きができない、など、どこかに癖が出ますので、それを自分で気づく事が大切です。

また、足の開き方にも注意を払うと良いですね。踵は揃えても少し離れてもかまいません。つま先が内側を向かないように気をつけましょう。平行よりは少し外側をむくように、踵からの角度が30度くらいは開いている方が安定して身体を支えられるようです。

練習の時に意識していろいろ試して、全身が強張ってしまわないよう、柔らかさと支えの力強さを共存させるような身体づくりを意識してみてください。しっかり身体を保つことを習慣づけることで、発声も安定し、より自由に声を使えるようになってきます。

#### 加藤雅子

#### ♪プロフィール♪



北海道大学工学部卒。学生時代は学内及び一般の合唱団に在籍、少人数アンサンブルからオペラ合唱まで幅広く活動する。

聖グレゴリオの家宗教音楽研究所にてグレゴリオ聖歌、バロック歌唱、和声などを学び、ルネサンス・バロック期の無伴奏宗教曲を中心に近現代曲まで研鑽を重ねつつ、合唱指揮者として活動している。

グレゴリオ聖歌を橋本周子、Sr 石川和子、合唱指導・発声法を望月寛之、声楽を名倉亜矢子の各氏に師事。

日本合唱指揮者協会会員。



## 『かながわの合唱団を訪ねて』

### 第12回：【一般】湘南フィルハーモニー合唱団

仕事などで茅ヶ崎の駅に来ることは何度もありましたが、南口へ降り立ったのは今回が初めてでした。

下町情緒あふれる街中を歩き、住宅街に入ってしまったところに、寒空の中、数十名もの人たちが集まっています。一体何をしているのか不思議に思いながら近づくと、そこが今日の目的地カトリック茅ヶ崎教会であることに気が付きました。

今日紹介する団体は『湘南フィルハーモニー合唱団』。1985年に相模原、綾瀬、茅ヶ崎、横浜、西湘の人たちが集まり結成された『フォーレ・レクイエムを歌う会』を元とした合唱団です。

この日はカトリック茅ヶ崎教会で開催予定のクリスマス・チャリティー・コンサートの本番前日練習にお邪魔しての取材となりました。

教会の中に入ると、すでに70名ほどの合唱団の人たちが祭壇前に陣取って並んでいます。では、寒空の中、並んでいた人たちは誰だろう…と考えていると、



ピアノ伴奏に合わせながら

外で並んでいた人たちが続々と中に入ってきて、更に並び始めました。何とこちらの合唱団、150人を超えるメンバー数を誇る、県内有数の大規模合唱団でした。

教会ですので、ある程度会場は大きいのですが、それでも150人を超える人数が集まると、それだけで教会の3分の1が埋まったかのような錯覚を覚えます。そこから紡ぎだされる歌声は大変豊かな響きで、時には余りに豊か過ぎて指揮者から繊細さを求められる一幕もあったのは、大規模合唱団ならではの光景でもありました。

年齢層も幅広く、若手から年配のかたまで歌を楽しんでいる姿が印象的でした。また女声パートが大きな声で歌うなど、一般合唱団にありがちなパートの偏りもなく、均整のとれた歌声には共感が持てました。



総勢 150 名の大合唱

この日練習していたのは、明日のチャリティーコンサートに向けたクリスマスに関連する曲でした。深々と冷え込む室内に、合唱団のまるで暖炉のような温かみのある歌声が教会中に響いていたのが印象的な練習でした。



熱心に指導する松村先生

～こちらの合唱団との出会いは？～

もうずいぶん前になりますが、私が来た当時はオーケストラの指揮者の方が指導しており、合唱指導という立場から始まりました。その後、本番の指揮もするようになり、今に至っています。

～今日は熱心に練習されていました～

宗教曲を演奏する機会が多かったので「こういうクリスマスコンサートのような機会を持ってやっていきたいね。」という話



クリスマス曲を歌う団員の皆さん

になって…というのが始まりだったと思います。この時期、すっかり根付いたイベントです。夏にはヴェルディやメンデルスゾーンなどのレクイエムをメインとした演奏会を、みなとみらいホールなどで開催しています。

～こちらの合唱団の印象を聞かせてください～

とにかく熱心であることと、組織がしっかりしており、団員の受け入れなども含めて温かく迎えている様子など、団員の気持ちが一つになるような合唱団であるところが素晴らしいですね。

これからも湘南からの温かい歌声が神奈川県中に響くことを期待しています。

(記事：カノン担当 栗林)

#### <合唱団紹介>

- ◆名称：湘南フィルハーモニー合唱団
- ◆代表者名：鈴木 慎吾
- ◆常任指揮者：松村努 副指揮者：服部陽介
- ◆ボイストレーナー：斎藤三和子
- ◆ピアニスト：織田祥代／北野悠美
- ◆お問合せ：http://sho-phil.com/mailform/inquiry.html

★新装開店第3弾★



## 副理事長のつぶやき【第6回】 一年経ったアンコン・・・



松村 努

カノンが送る  
好評連載シリーズ！  
松村副理事長が皆さんに  
お届けします

3.11 からちょうど一年の時間が過ぎ、かながわヴォーカルアンサンブルコンテストが開催された。

震災の翌日、県連では、役員が急遽招集された。あの日、朝日新聞横浜総局の窓ガラスは割れ落ち、県連事務所も、発送作業中だった総会資料を掘り起こすのが大変なほど、沢山の書類、楽譜などが落ちて床に散乱していた。ビルの壁は崩れ落ち、関内ホールの周りは歩道が盛り上がり、タイルが割れていた。関内は横浜でも最も揺れの激しかった場所と聞いている。そして、やむなく、2011 年のアンコンの中止を決めた。

今年の3月11日は、日本中が震災を思い起こし、追悼の集会在各地で開かれた。偶然にも神奈川県は、この日がアンコンの開催日だった。毎年この時期に行われるアンコンは、コンクールという場で、日頃の練習の成果を互いに競い合い、合唱技術の向上を目指している。歌われるのは少人数アカペラと言うこともあり、演奏される作品には、自然と祈りの言葉が多くなるのだが、特にこの日の演奏が競い合うだけの音楽ではなかった様に感じたのは私だけだろうか。演奏していても、聞いていても、どの歌にも「祈り」を感じた。特に宗教音楽ではなくとも、また直接的な祈りの言葉が歌詞に含まれていなくとも、歌には、「祈る」に等しい力がある様に思う。心を寄せ合い、その心を伝えようとするとき、「歌」は「祈り」へと変わっていく。

「祈る」と言う事は、宗教の有無にかかわらず、誰もが心に持つ感情なのだと思う。合唱を通して私たちは、声を合わせる事、美しいハーモニーを創ること、メッセージを伝えること、お互いを認めること、お互いを信じることを考え、歌える幸せを感じる。聴衆は、ある時は胸が熱くなり、ある時は心が軽くなり、ほほえんだり、

涙したり、様々なメッセージを自分のものとして受け入れる。この心の動きこそが「祈り」なのだと思う。

被災地を思い、亡くなった方々のご冥福と、一日も早い復興を祈った2時46分。県立音楽堂に集ったすべての人にとって、演奏されたアンサンブルは全て、純粋な祈りの「歌」となっていたと思う。



ヴォーカルアンサンブルコンテスト  
会場の様子

(連載終わり)



★最終回★



## コール・キリエ団長日記 ～親分はつらいよ～

### 【第6回】「仕事」と「合唱」の両立



鈴木 行

カノンが送る  
好評連載！  
コンクールの親分が  
本音トークで迫ります

学生時代は、当たり前のように放課後になると音楽室に行って思う存分なんの憂いもなく歌いまくっていましたが、それが社会人になると一転。歌う時間の捻出に一苦勞…という一般団体の団員さんは多いと思います。かく言う私もその1人。

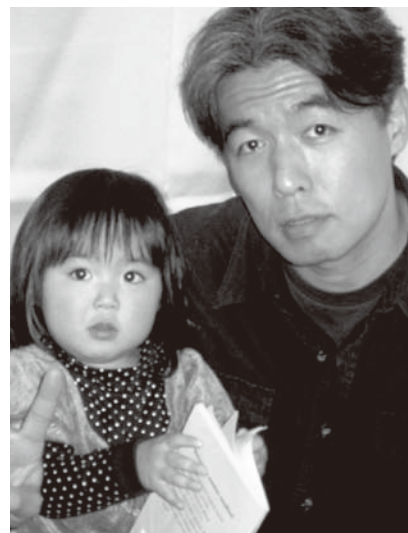
大学3年の秋、就職活動を始めるにあたって「合唱を続けられるように」と考えて、土日旗日が休みの地元企業を探して、バブル崩壊直後の時期にも拘らずトントン拍子に内定を貰って無事に就職できました。当初の予定通り「仕事をしながら、休みの日には合唱を楽しむ」というライフスタイルを確立できた訳ですが、1日の大半を過ごす「職場」。1日の大半の時間を費やす「仕事」。徐々に「仕事」に対しての気持ちのギャップ（特別に遣り甲斐を持っていたのではない仕事を、“飯を食う為”と割り切って遂行する）に耐え切れなくなって、4年前に自分の気持ちに合った仕事に思い切って転職しました。週1回の「合唱」による気分転換では間に合わなくなったのです。

転職によって精神的な日常は落ち着いたのですが、シフト制の業種に就職したので、覚悟をしていたとはいえ合唱時間は激減。平均すると、練習に行けるのは月に1回程度。当コラムの表題にもある通り合唱団で団長を務めている身としては、自分が歌えない事もさることながら、団の運営面でも大きな迷惑を掛けてしまっている状況で、自分自身の転職後の悩みの1つになっています。

合唱に限らず仕事と趣味を上手に両立させている方もいらっしゃることでしょう。逆に私と同じ悩みに苛まれている方もいらっしゃると思います。たかが趣味されど趣味。たかが合唱されど合唱。中学3年生の時にNHK全国学校音楽コンクールに出演したのをきっかけに（その当時は、全日本合唱コンクールに中学校部門は無かった）、本気で合唱を始めて現在に至る私。合唱は、私に様々な経験をさせてくれ、良い仲間と巡り合わせてくれ、人生を豊かにしてくれています。考えてみれば、私の妻も、今の私を取り巻いてくれている多くの仲間の殆ども、合唱を通じて出会っています。まさに合唱無くして今の自分は無かった！！

現在の私の合唱活動は決して盛んとは言えませんが、前述のように私を育ててくれた合唱を、細々とでも着実に続けていく事が「仕事」と「合唱」の両立と考えて歌い続けようと思います。

以上をもちまして、私のコラムを終了させていただきます。短い期間ではありましたが、私の拙い文章にお付き合い下さいまして有難うございました。



最近の楽しみは専ら1歳10ヶ月の  
愛娘とじゃれあう事



# カノンコンサートガイド

(お知らせ)

主催者の都合により、コンサート日程、内容等が変更となる場合がありますので、詳細につきましては各コンサートのお問合せ先にご確認ください。

|              |                                                                                                                                                                                                                                                                   |
|--------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 4/22<br>(日)  | <b>神奈川学園中学・高等学校女声合唱団 第19回定期演奏会</b><br>14:30 ~ 磯子区民文化センター 杉田劇場<br>入場無料<br>お問合せ: 川合 045-311-2961<br>信長貴富作曲「万葉恋歌」 松下耕作曲「花冷えのあとで」 ミュージカル「サウンド・オブ・ミュージック」 他                                                                                                            |
| 4/27<br>(金)  | <b>女声コーラスフレッシュ・ピュア フレッシュ・ピュアコンサート 大中恩の作品を歌う</b><br>18:30 ~ フィリアホール<br>入場料: 2,000 円 (全席自由)<br>お問合せ: オフィス・バルーン 045-901-9914<br>大中恩の作品の本人指揮による公演です。文学座川辺久造の朗読、主宰者酒井沃子のソロを加え楽しめます。                                                                                    |
| 4/29<br>(日)  | <b>混声合唱団 横浜ルミナス・コール 第11回定期演奏会</b><br>14:00 ~ 鎌倉芸術館 小ホール<br>入場料: 1,000 円 (全席自由)<br>お問合せ: 下江 045-761-3744 luminous@jn5.so-net.ne.jp <a href="http://www1.odn.ne.jp/luminous/">http://www1.odn.ne.jp/luminous/</a><br>演奏曲目: 三善晃作曲「五つの童画」 他2ステージ 指揮: 小久保大輔 ピアノ: 名取かほり |
| 5/4<br>(金・祝) | <b>横浜メールクワイア 男声合唱団「横浜メールクワイア」第7回定期コンサート</b><br>14:00 ~ 神奈川県立音楽堂<br>入場料: 1,000 円 (全席自由)<br>お問合せ: うるし崎 045-823-9053(Tel&Fax) <a href="http://yokohama-male-choir.com/">http://yokohama-male-choir.com/</a><br>組曲「若しもかの星に」「旅一山頭火」「酒を讀える万葉の歌」など。指揮: 小林正明 ピアノ: 須江太郎    |
| 5/5<br>(土・祝) | <b>女声合唱団 クール・アルカンシェル 35 周年記念コンサート</b><br>16:30 ~ 神奈川県民ホール 小ホール<br>入場料: 1,000 円<br>お問合せ: 山本 045-741-6677(Tel&Fax)<br>「エーデルワイス」「おお、シャンゼリゼ」他、世界の様々な歌をお楽しみ下さい。指揮: 酒井悦子 ピアノ: 菅谷圭                                                                                       |
| 5/13<br>(日)  | <b>緑フラウエンコール 第8回演奏会</b><br>14:00 ~ 横浜みなとみらいホール 大ホール<br>入場料: 2,000 円 (全席自由)<br>お問合せ: 和田直子 045-902-7372 <a href="http://midori-frauen.com">http://midori-frauen.com</a><br>オルバーン「ミサ曲第9番」より、吉田孝古暦編曲集より、千原英喜「ある真夜中に」より、他。指揮: 松村努                                      |

|             |                                                                                                                                                                                                                                                                                      |
|-------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 5/17<br>(木) | <b>鶴見女声合唱団 第13回定期演奏会</b><br>18:30～ 横浜みなとみらいホール 小ホール<br>入場料:1000円<br>お問合せ:大塚 044-223-8797 住田 045-575-5156<br>松下耕作曲「そのひとがうたうとき」他                                                                                                                                                       |
| 6/2<br>(土)  | <b>富士通川崎合唱団 富士通川崎合唱団 第8回演奏会</b><br>18:30～ 中原市民会館 多目的ホール<br>入場料:無料 ただし、事前に入場整理券をご請求ください(未就学児童の入場不可)<br>お問合せ:8th-concert-info@fkchoir.org <a href="http://www.fkchoir.org/">http://www.fkchoir.org/</a><br>宗教曲ステージ、男声/女声別ステージ、邦人作曲家による作品ステージを加藤雅子の指揮でお送りします。                           |
| 6/10<br>(日) | <b>湘南コール・グリーン 第62回定期演奏会</b><br>14:00～ 藤沢市民会館<br>入場料:1,000円<br>お問合せ:小島 0467-32-3188<br>ミルテの花/ロベルト・シューマン、ノスタルジアⅡ/信長貴富、昨日の時計/鈴木輝昭、七つのあそびうた/新実徳英                                                                                                                                         |
| 6/15<br>(金) | <b>しほみコール 第18回定期演奏会</b><br>18:00～ ラディアン(二宮町生涯学習センター)<br>入場料:1,000円<br>お問合せ:柴野 0463-72-3999 飯田 0465-43-0754<br>落葉松、七つの子供の歌より、他 指揮:桑原妙子 ソプラノ:伊藤久加 ピアノ:中根希子                                                                                                                             |
| 6/16<br>(土) | <b>アンサンブル藤沢 アンサンブル藤沢 第7回演奏会</b><br>14:30～ 磯子区民文化センター 杉田劇場ホール<br>入場料:1,000円<br>お問合せ:三橋 090-1839-7082 <a href="http://tefutefu.jimdo.com/">http://tefutefu.jimdo.com/</a><br>ア・カペラの女声合唱団です。ミサ曲を始め、今回はアニメソングにも挑戦します。 指揮:松村努                                                             |
| 6/17<br>(日) | <b>混声合唱団 相模台グリーンエコー 第25回定期演奏会</b><br>14:00～ 杜のホールはしもと(ミウヰ橋本 7階)<br>入場料:700円(全席自由、当日券あり)<br>お問合せ:岩本 090-5403-9872<br>ピクトリア・モラレス宗教曲集、「いのちの木を植える」、ブーランク作品集 指揮:山本龍紀・大沢利郎 ピアノ:岩淵香絵                                                                                                        |
| 7/14<br>(土) | <b>相模原市民混声合唱団 相模原市民混声合唱団 第19回定期演奏会</b><br>14:00～ 杜のホールはしもと<br>入場料:1,000円(全席自由)<br>お問合せ:寺嶋 042-755-3126 <a href="http://music.geocities.jp/sagamihara2011/">http://music.geocities.jp/sagamihara2011/</a><br>木下牧子アカペラ作品、シューベルト「ドイツミサ」、林光「日本抒情歌曲集」より、千原英喜「良寛相聞」                        |
| 7/14<br>(土) | <b>戸塚混声合唱団 戸塚混声合唱団 第14回演奏会</b><br>14:00～ 横浜みなとみらいホール 大ホール<br>入場料:1,500円<br>お問合せ:畑中 045-713-9363(Tel&Fax) <a href="mailto:hatasn@tbz.t-com.jp">hatasn@tbz.t-com.jp</a> <a href="http://totsukon.net/">http://totsukon.net/</a><br>共演:グランペーネ管弦楽団、メゾ・ソプラノ牧野真由美、信長貴富編曲「近代日本名歌抄」「ノスタルジアⅡ」 |

|             |                                                                                                                                                                                                                                      |
|-------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 7/15<br>(日) | <b>横浜ローゼンコール 横浜ローゼンコール 第38回定期演奏会</b><br>14:00 ~ 浜離宮朝日ホール<br>入場料: 1500 円<br>お問合せ: 戸川 090-9970-8064 <a href="http://crossbencher.digi2.jp/">http://crossbencher.digi2.jp/</a><br>信長貴富「どんたく」、林光「コメディア・インサラータ」より、北川昇作品 指揮: 中村皇 ピアノ: 廣田千春 |
|-------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|

## 第 52 回 「音楽堂・おかあさんコーラス」

日時: 2012年10月2日(火)・3日(水)・4日(木)・5日(金)

場所: 神奈川県立音楽堂

参加資格は県内に活動拠点を持つ女声コーラスグループです。ふるってご参加ください。

募集要項は下記にお問い合わせください。

主催: 「音楽堂・おかあさんコーラス」実行委員会

共催: 神奈川県立音楽堂

後援: 神奈川新聞社

協賛: 神奈川県合唱連盟

【問合せ先】 神奈川県立音楽堂内 「音楽堂・おかあさんコーラス」実行委員会事務局

電話 045-263-2567

FAX 045-243-6216

## 横浜交響楽団第 638 回定期演奏会

— 青少年のための音楽会 —

横響創立 80 周年

# ライヒャ デウム

ロッシーニ 歌劇「セヴィリアの理髪師」序曲

ロッシーニ 歌劇「ウィリアム・テル」序曲

指揮 甲賀 一宏

ソプラノ 村元 彩夏 アルト 谷地 敏 晶子 合唱 横浜交響楽団合唱団 (横響合唱団)  
 テノール 市川 浩平 バス 加末 徹 管弦楽 横浜交響楽団

平成 24 年 4 月 25 日 (水) 午後 7 時開演  
 神奈川県立音楽堂

入場料 1,000 円 (全席自由)

その門下から、ベルリオーズ、リスト、フランク等の大作曲家を輩出しながら、ライヒャ自身の作品はわが国ではほとんど演奏機会がありません。横響創立 80 周年の幕開けはこの知られざる名曲を演奏いたします。

チケット前売所

横浜読売プレイガイド・ちっけとぽーと (横浜駅東口地下街ポルタ内)  
 e+ (イー・プラス) <http://eplus.jp/>

## 平成 24 年度横響合唱団出演演奏会

横響第 642 回  
定期演奏会

平成 24 年 10 月 28 日 (日) 午後 2 時開演 神奈川県立音楽堂  
 シューベルト ミサ曲第 6 番 変ホ長調

横響第 643 回  
定期演奏会

平成 24 年 12 月 16 日 (日) 午後 2 時開演 神奈川県民ホール (大)  
 入場料 1,500 円  
 ベートーヴェン 交響曲第 9 番 二短調「合唱付き」



## ～県連からのお知らせ～

### ◆ 2012年度NHK全国学校音楽コンクール課題曲講習会

- (1) 開催日 平成24年4月30日(月・休)
- (2) 会 場 杉田劇場(横浜市磯子区民文化センター)  
JR・シーサイドライン新杉田駅下車 徒歩3分
- (3) 講 師 清水敬一(合唱指揮者 全日本合唱指揮者協会理事長)
- (4) 内 容 ①小学校部門(10:30～12:00)  
②中学校部門(13:00～14:30)  
③高等学校部門(15:00～16:30)
- (5) 申込み 4/9～4/26にFAXで県連事務局に申込み 受講料等の詳細は事務局へ

### ◆ 第55回神奈川県合唱コンクール

- (1) 日 時 中学校・高等学校…平成24年8月22日(水)11時開演予定  
大学・職場・一般…9月2日(日)11時開演予定
- (2) 会 場 県立音楽堂
- (3) 入場料 1,000円

### ◆ 第35回全日本おかあさんコーラス神奈川県大会

- (1) 日 時 平成24年4月21日(土)11時開演予定
- (2) 会 場 神奈川県立音楽堂
- (3) 入場料 500円(高校生以下無料)

県内各地からお母さんコーラス28団体が参加し、関東大会、全国大会の出場を目指して歌声を競います。どうぞご来場ください。

### ◆ 第55回神奈川県合唱祭

- (1) 日 時 平成24年6月9日(土)・10日(日)・23日(土)・24日(日)  
いずれも10時30分開演予定
- (2) 会 場 神奈川県立音楽堂
- (3) 入場料 無料

毎年約180団体が参加して4日間にわたって行われます。コスチュームファッションショー、公開レッスン、パフォーマンスコーナー、特別演奏(今年は篠笛と和太鼓演奏)など楽しい企画がいっぱいです。どうぞご来場ください。

《 お問合せ先 》

神奈川県合唱連盟事務所 電話 045(681)6033 FAX 045(662)5119  
スタッフ常駐 平日:月～金(休祝日を除く) 12:00～16:00

## —— 県連からのお知らせ ——

## &lt;東日本大震災に伴う義援金募集について&gt;

昨年の総会でも通知いたしました通り、神奈川県合唱連盟は東日本大震災の被災地及び被災された方々への支援の一環として、昨年4月以降の県連各行事における募金の呼びかけを行いました。同時に、神奈川県合唱連盟が窓口となり、各団体・個人からの義援金の受付も実施いたしました。その結果多数の団体、個人の皆様より暖かいご支援を頂きました。この場を借りて御礼を申し上げます。

いただきました義援金につきましては、少しでも早く現地で活用していただこうと、現在までに5/24、6/29、8/31、9/28、2/17の5回、朝日新聞厚生文化事業団に寄託いたしました(1,952,917円)。また当活動につきましては、朝日新聞厚生文化事業団の震災寄付窓口が終了いたしましたので、今年度からは全日本合唱連盟の「被災地の合唱活動復興のための義援金」に寄託することになりました。今後とも継続して募集しておりますので、合唱連盟経由での寄付をご希望される団体、個人の方は引き続き以下の口座までお届けいただきますよう、よろしくお願いいたします。

**【郵便振込】口座記号：00200-8-100874 加入者名：神奈川県合唱連盟**

※領収書の発行はできません。また義援金への募金は税法上の寄付控除の対象とはなりませんのでご注意ください。

## ～義援金をお寄せいただいた団体・個人の皆様～

(3/31現在(2011年冬号でのご報告以降):全1団体:振り込み順)  
合唱団 ロンド

## ☆コンサートガイド掲載要綱☆

神奈川県合唱連盟に所属していれば、この「カノン」にコンサートのお知らせを掲載することができます。掲載方法は「無料掲載」と「有料掲載」があります。それぞれ、必要事項を記したものを郵送かFAXまたはe-mailにて編集室までお申し込みください。ただし、無料掲載は1演奏会につき一度だけとさせていただきます。なお、有料掲載と無料掲載の両方を希望する場合は、それぞれ個別にお申し込みください。

また有料掲載につきましては、神奈川県合唱連盟に所属していない団体からも掲載を受け付けることが可能です。その場合の料金に関しては、下記掲載料の倍額とさせていただきます。

1 無料掲載: ①合唱団名 ②演奏会名称 ③開催日時 ④会場 ⑤入場料等 ⑥問い合わせ連絡先(Tel/Fax/e-mail/HPの記載可) ⑦コメント(50字以内)を掲載いたします。

2 有料掲載: 1/8号 2,500円(1/4号 5,000円、1/2号 10,000円、1号 20,000円)での有料掲載を行います。内容は基本的に自由ですが、事務局がカノンに掲載することがふさわしくないと判断したものについてはお断りすることがあります。希望するサイズでの出力見本(手書き可)をメール、FAX等で送っていただき、各合唱団が作成した原稿をそのまま掲載するか、原稿案を元に事務局で作成いたします。

※カノン発行月と原稿締め切りの予定: 春号 4月10日発行予定(※切:2月10日) 夏号 7月10日発行予定(※切:5月10日)  
秋号 10月10日発行予定(※切:8月10日) 冬号 1月10日発行予定(※切:11月10日)

<取材希望団体募集> 「かながわの合唱団を訪ねて」のコーナーでは、取材を希望する合唱団を募集しています。希望団体は県連事務局にご連絡下さい。スタッフが取材いたします。

<編集後記> 今年の冬は寒さもひとしおでした。おまけにインフルエンザ大流行ということで、私もインフルエンザ香港A型に罹患。一週間会社も合唱活動もお休みし、周りの皆さんに迷惑をかけることとなりました。本文フェスティバルのところで実行委員にインフル…というのは、実は私だったりします。反省。来年は迷惑かけないように気をつけますね。(編集長:K)

## 神奈川県合唱連盟 情報誌「Kanon(カノン)」

編集・発行 神奈川県合唱連盟・カノン編集委員会

発行責任者 田中登志生 編集責任者 栗林宏至

神奈川県合唱連盟・事務局

〒231-0021

横浜市中区日本大通 15 横浜朝日会館 4 階

TEL: 045-681-6033 FAX: 045-662-5119

スタッフ常駐・平日: 月～金(休祝日を除く) 12:00～16:00

URL <http://kanagawakenren.la.coocan.jp/>

e-mail アドレス [kanagawakenren@nifty.com](mailto:kanagawakenren@nifty.com)

